

図1 平成23年度工作部門部局別利用件数

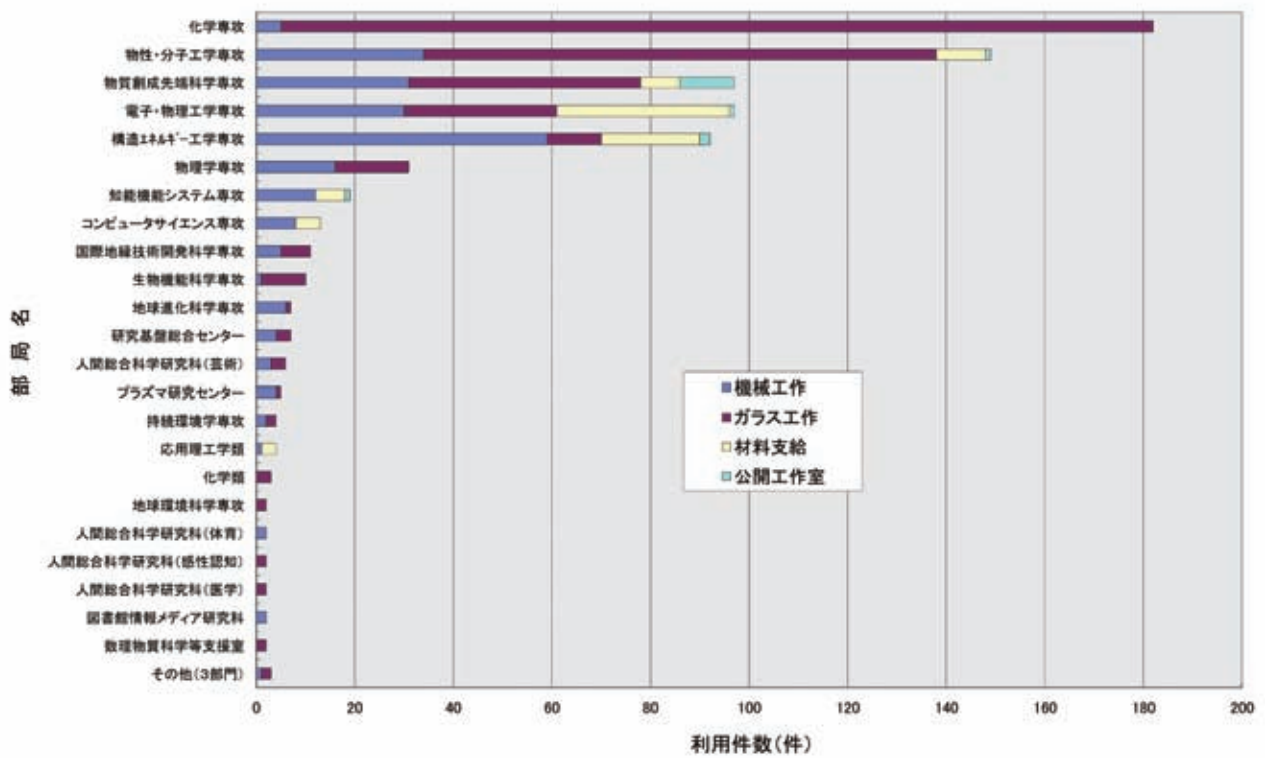


図2 平成23年度工作部門部局別利用時間

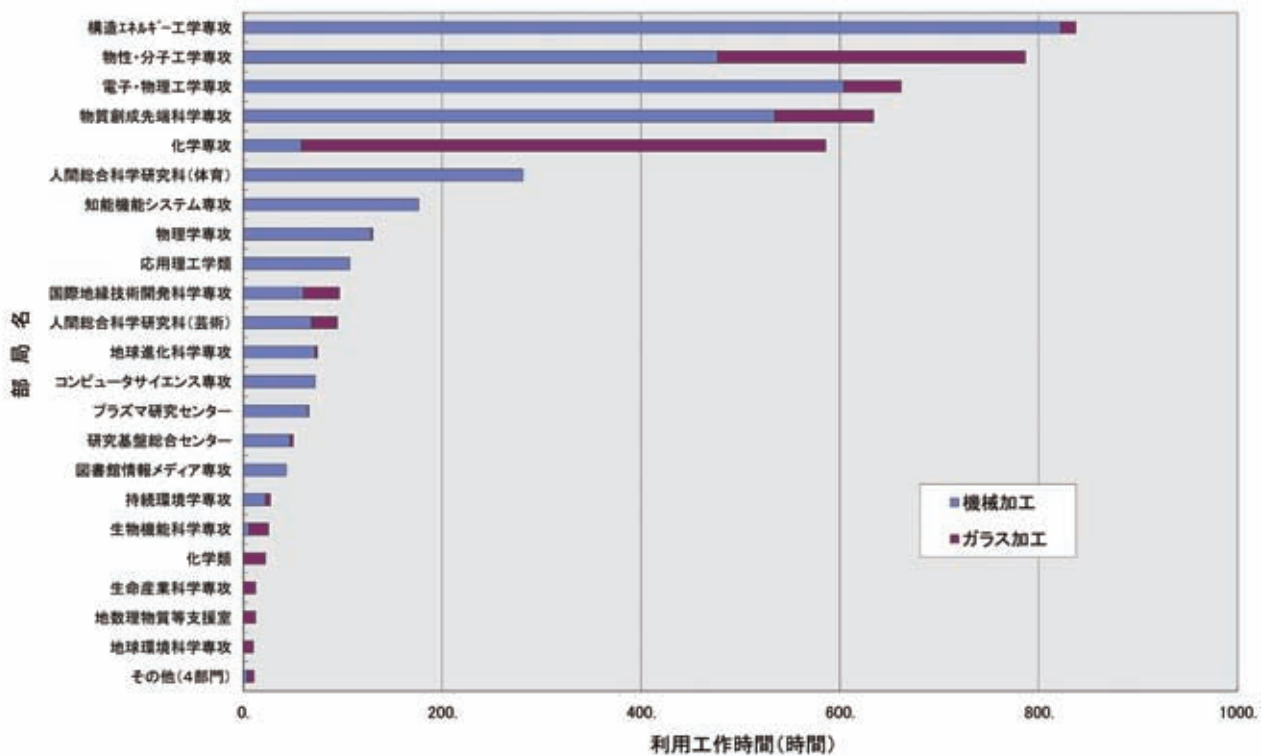


表1 最近4年間の利用状況

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
機械工作	依頼件数(件)	210	229	250	224
	消化件数(件)	214	218(45)	254(36)	226(13)
	利用作業時間(H)	4191.5	4444	4578.7	3647.5
ガラス工作	依頼件数(件)	428	452	432	421
	消化件数(件)	426	443	440	423
	利用作業時間(H)	1283	1246.5	1567.5	1164.5
合計	依頼件数(件)	638	681	682	645
	消化件数(件)	640	661	694	649
	利用作業時間(H)	5474.5	5690.5	6146.2	4812
材料支給件数		131	87	108	87

※カッコは特急処理件数

表2 最近4年間の公開工作室利用取得者数と利用状況およびガラス工作講習者数

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
機械工作	取得者数	11	14(19)	3(27)	1(20)
	利用件数	23	26	14	16
	利用時間(時間)	88.95時間	144.9時間	40.75時間	45.75時間
ガラス工作講習者数		0	4	4	5

()内人数は大学院授業による取得者数

表3 最近4年間の利用件数トップ3

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
1	物性・分子工学専攻 174件	物性・分子工学専攻 184件	化学専攻 186件	化学専攻 182件
2	電子・物理工学専攻 166件	化学専攻 143件	物性・分子工学専攻 137件	物性・分子工学専攻 149件
3	化学専攻 130件	電子・物理工学専攻 115件	電子・物理工学専攻 124件	物質創成先端科学専攻 電子・物理工学専攻 97件

表4 最近4年間の利用時間トップ3

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
1	構造エネルギー工学専攻 2246.5時間	構造エネルギー工学専攻 1206時間	構造エネルギー工学専攻 1141.5時間	構造エネルギー工学専攻 837時間
2	物性・分子工学専攻 799.5時間	電子・物理工学専攻 1054.5時間	物性・分子工学専攻 792.2時間	物性・分子工学専攻 786.5時間
3	電子・物理工学専攻 713.5時間	物性・分子工学専攻 803.5時間	化学専攻 786時間	電子・物理工学専攻 661.5時間

表5 平成23年度公開工作室利用実績詳細

利用者所属名	件数	利用時間
物質創成先端科学専攻	11	25.5 時間
電子・物理工学専攻	1	1.5 時間
物性・分子工学専攻	1	4 時間
知能機能システム専攻	1	7 時間
構造エネルギー工学専攻	2	7.75 時間
計	16	45.75 時間

表6 平成23年度公開工作室利用資格認定者詳細

所属名	学生
工学システム学類	1
計	1

表7 平成23年度大学院授業「機械工作序論と実習」受講者数詳細

所属名	
物質創成先端科学専攻	1
電子・物理工学専攻	2
コンピュータサイエンス専攻	2
知能機能システム専攻	7
構造エネルギー工学専攻	3
芸術専攻	4
感性認知脳科学専攻	1
計	20